

四日市大学留学生新聞

編集部 梁青(経済3年) 周大偉(環境情報3年) 邵晶(経営2年) 周昱(経営2年) チャンティ ツ
ウイ(経営2年) シュレスタ プラカシュ(環境情報2年) ダンゴル ショバ(環境情報2年)

大学祭の開催

皆さん、いよいよ一年に一回の四日市大学大学祭が10月27、28日、この二日にかけて開催されます。

楽しみです！どんどん準備しましょう。初めての一年生と先輩、先生と一緒に参加しましょう。アルバイトや仕事の疲れから解放されましょう。私は去年初めて大学祭に参加しました。皆と一緒に、笑顔で時間が過ぎました。

ここで私が楽しい言葉をいくつか言っても、一年生には全くイメージがわかりません。大学祭の内容を紹介します。大学祭とは大学の学生を中心に、学生は色々な模擬店を出します。でも大学祭に参加する人は本学の学生だけではなく、先生たちや地域の住民の方々等、さまざまな人達が学校に来ます。皆大学で食べたり買い物したりしながら楽しいコミュニケーションができます。

では、ここで大学祭の店を紹介します。大学祭では、色々な国の特色の料理を販売します。留学生の模擬店では、本場の中国のギョウザやベトナムのフォーなど学生たち自身で作ります。もちろん日本の食べ物もあります。たこ焼きや焼きそばなどがあります。食べることが好きな人は、楽しみにしてください。食べる物だけではなく面白い物品なども販売しています。模擬店以外にも素晴らしい公演があります。まだ十分紹介できていませんので、皆さん、ご自分で楽しい体験をしましょう。

大学で大学祭はいい体験だと思います。またコミュニケーションの練習にも良いチャンスです。皆さんの積極的な行動を楽しんでいます。



経済学部経営学科2年 邵晶





平成24年度私費外国人留学生奨学金

留学生を対象とした奨学金が今年度も給付されました。

受賞者の皆さん、おめでとうございます。

＊ 私費外国人留学生学習奨励費（日本学生支援機構）

平成24年度受給者（1年間）16名

平成24年度後期受給者（6ヶ月間）9名

＊ 三重県私費外国人留学生奨学金（三重県）平成24年度合格者

張 文セイ（経済学科4年 チョウ ブンセイ）

劉 琴峰（総合政策学科4年 リュウ キンホウ）

湯 泉（経済学科3年 タン チュアン）

ビエン ヴァンフィー（経済学科3年）

ネイ ミヨー ティハ ハン（総合政策学科2年）

＊ 国際ソロプチミスト三重奨学金（国際ソロプチミスト三重）

劉 佳利（経済学科3年 リュウ カリ）

シュレスタ アチャリャ ルプタラ（環境情報学科3年）

＊ 第8回留学生による日本再発見の旅—宗村南男留学生奨学金「Discover Japan」

閻 萌萌（経営学科2年 エン モンモン）

叢 娜（経営学科2年 ソウナ）





北海道旅行



今年の夏休みは学校の”研修旅行”に参加しました。目的地は北海道です。北海道に対するイメージは映画や、テレビ番組によって旅行の前から知っていましたが、ラベンダーと広い花畑が一番代表な景色だと思っていました。しかし、今回はいろいろな所に行き、新しい北海道を認識しました。

一日目、有珠山西山火口と洞爺湖に行きました。有珠山は洞爺湖の南に位置する標高 737m の活火山で、20世紀の 100 年間だけで実に 4 度も噴火活動が観測された、世界的に見ても活発な活火山です。これはガイドさんからの話を聞きました。つまり、次回はいつ噴火活動があるか全く予測できないので、登っている私たちにとって、本当に危ないと思います。火山口から帰って、洞爺湖のすぐ隣のホテルに入りました。夜、花火大会を見て、また温泉に入りました。一日の疲れを癒しました。

二日目の行程の中では小樽が一番好きです。小樽の素朴で古風な雰囲気が大好きです。小樽の古い町並みは、私の故郷を思い起こさせます。小樽を訪れたその日、私は友達と一緒に小樽運河の隣にのんびり歩いて、そよ風がほほをなでていきました。その感じは子供の時、母が私の手を引いて、一緒に散策した感じにそっくりでした。本当に懐かしかったです。その後、小樽の北一硝子館へ見学に行ったのはもちろんのことです。小樽は硝子が有名で、小樽=ガラスの街というイメージを定着させた店です。ガラス製品が豊富、多彩に揃います。夜は、道内最大の都会、札幌に到着しました。一番驚いたことは、北海道の人がよく羊肉を食べていたことでした。羊肉をあまり食べない私は、ガイドさんのお勧めを聞いて、北海道の名物一味噌ラーメンを食べることに決めました。評価は「やっぱり名物だ、美味しかった」のひとことに尽きます。'

そして三日目、北海道の自然の景色を楽しみました。富良野の花畑、四季の丘、風光明媚な所だと思います。その風景は間違いなく北海道の代表的な絶景です。ラベンダーもいっぱい咲いていました！花の海という表現は、全然誇張ではないと思います。

三日間は短かったけれども、楽しみました。もし今後チャンスがあれば、きっと、また行くと思います

経済学部経営学科 2年 劉 夢樟



宗村南男奨学金—Discover Japan



今回、「宗村南男奨学金—Discovery Japan」を受賞し、私は友達と関西と関東に行くことができ、非常に楽しかった。

京都では清水寺、祇園、金閣寺、伏見稲荷大社などを巡って、古い日本を感じることができた。狭く長い小路を歩きながら、昔の日本に飛び込みたくなってしまった。様々な神社に行き、そこで、ただ記念写真を撮って美味しいものを食べるだけでなく、一つ一つの神社の由来、伝説、関わった人物のことなど、石碑に書かれている文字を読んで、心の中にしっかりと刻みこんだ。歴史というのは本当に不思議である。いくら時間が経っても、いくら政府が町を再開発しても、町中のどこかには、必ずとっていいほど、古き良き時代の面影が残っている。それを見つけることが楽しいのである。

二日間だけでは十分に観光できるわけがない。人が多すぎて、どこへ行っても、並ばないといけない。交通が便利すぎて、乗り換えのときは迷子になりやすい。二日間、渋谷、池袋、新宿、台場など、賑やかなところを歩きまわり、美味しいものを食べて、好きなものを買って、さすが世界の中の大都市だと思った。一番楽しかったことは、今年完成した東京スカイツリーへ行ったことだ。夜、東京につき、すぐに友達とワクワクしながら、そこに行った。350メートルの展望台から東京の夜景が一望でき、その素晴らしい景色を目に焼き付けた。遥か眼下にキラキラと輝く家々の灯り、道路を走っている車のライトなど全部見ることができ、とても感動した。こんなに凄い技術力を持って、人々の生活まで変えてしまうのだから、人間はなんて素晴らしいのだろう。

この四日間、思った以上に早く時間が過ぎていった。名古屋に帰った時には、身体はかなり疲れていたけれど、この旅行で得られた知識や経験は、私にとって、とてつもなく大きな財産である。

経済学部経営学科 2年 閻 萌萌



インターンシップに参加して



私は夏休みには、桑名で十日間、インターンシップに参加しました。私がインターンシップに参加した理由は、就職活動に向けて、自分がまだ知らないところに、これから入っていく働く世界を体験したかったからです。そして、日本のサービス業は世界でトップと言われているので、私も将来サービス業の仕事をしたということもありました。

十日間は短い期間でしたが、私はいろいろなことを勉強しました。この研修期間の主要な仕事の内容は、荷物を客室へ入れること、チェックインの客室の確認とフロントの業務です。その中でも、フロントの業務が一番難しく重要な仕事だと思います。アルバイトの時に、私も接客しているけれども、やはりホテルの接客とは違うと思います。ホテルの接客はもっとお客様の立場でいろいろなことを考え、言葉ももっと丁寧です。私は三日目から社員の方に指導していただきながら、接客を始めました。最初はとても緊張しましたが、二、三日の指導の後、一人で接客できるようになりました。外国人として、丁寧な日本語で接客することは本当に難しいことですが、最後までミスをしないように仕事をするのができたことは、とてもうれしいことです。

次に感じたことは、挨拶やマナーの大切さです。人と接する上での第一印象となるので、とても重要なものであると改めて実感しました。

そして、社会人にとってコミュニケーション能力が必須条件であると学びました。特にホテルの仕事、社員の方は、毎日のお客さんの情報や要望事項を互いに伝えます。このように、コミュニケーションによって相手が話しやすい状況を整え、そして責任を持って仕事に取り組む姿勢が、安心や信頼を得ることにつながっていくのだと思いました。

今回のインターンシップで実際の職場での体験、特にお客様と直接接する仕事を体験することが出来たのは良い経験になりました。働くということは、私の想像以上に難しいものでした。普段の生活では得られない体験や、魅力を感じることが出来ました。今回の経験を生かし、就職活動を有意義なものにしていけるよう努力したいと思います。

最後に、お忙しい中にもかかわらず、ステーションホテル桑名の皆さんに優しく指導していただきました。ありがとうございました。



経済学部経済学科 3年 陳 岱民

「多文化共生社会を考える」 プログラムに参加して



9月17日、多文化共生の第二回万古焼き体験とグループディスカッションに参加しました。ベトナムで万古焼きを見たことがあるが作品を作ったことがなく、今回、万古焼き体験ができるのは本当にうれしかったです。みんなが好きな作品を自由に作り、私もお皿とお茶碗を完成しました。先生のようにきれいに作れませんでした。自分の作品を作れたことがとてもうれしいと思います。万古焼きを作るのは難しかったが、とても面白かったです。万古焼きを教える先生方も優しく熱心に教えてくれたので、私たちは楽しく体験することができました。

万古焼き体験が終わった後、グループに分かれてディスカッションをしました。各チームは異文化を示す実例や自分の意見などを書いて、その問題についてどういうふうにすべきか相談してから発表しました。それぞれの国の文化が違うのでいろいろな意見がありました。また、学外ボランティアの方も積極的に参加してくれたので、ディスカッションがとても楽しくておもしろくなったと思います。

四日市大学のこのプログラムに参加して、実際に万古焼き作品をいろいろ作れたのはいいチャンスだと思いました。また、国々の異文化のディスカッションはいろいろな知識を得ることができ、役に立つと思います。そして留学生の私たちにとって日本語の勉強と日本語のコミュニケーションの機会になると思います。

経済学部経営学科2年 チャンティ ツウイ





国際交流

私は、学校以外の所でも母国の文化を伝える機会があります。たとえば、2012年6月13日に暁高校で母国の結婚式の紹介をしたことです。また、高校生の方と一緒にネパールのお菓子作りもしました。その際、民族衣装を着て参加しました。その時着物を着させてもらう機会がありました。一度着てみたかったので、とても嬉しかったです。

9月22日も私はネパール出身者として、高校生の文化祭でネパールの民族衣装、母国語やネパールでは有名なお菓子「ラッドウ」を紹介しました。また、来てくれた人達にもネパールの雰囲気味わってもらい、民族衣装でもあるサリーを着てもらい文化祭会場を一緒に回ったりしました。高校生達はとても嬉しそうにサリーを着て楽しそうだったので、自分も嬉しくてこれからもネパールの良さについて学んでもらいたいと思いました。

環境情報学部環境情報学科 2年 ダンゴル ショバ



日本語コーナー

組み合わせの言葉

寄りかかる:体を物にもたせかける。また、他人を頼りにする。

寄り添う:ぴったりとそばへ寄る。

寄せ集める:雑多な物を一カ所に集める。

使いこなす:使い方を心得て、十分に活用する。

たどり着く:いろいろ苦労して目的地にやっと行き着く。

着飾る(きかざる):美しい着物を着る。

消し去る:消してなくす。

言い張る:自分の主張をどこまでも通そうとする。

待ち望む:早くそうなることを願う。

触れ合う:互いに相手に触れる。接触する。

切り替える:今までのものをやめて、別のものに替える。

やり遂げる:困難な仕事などを完了する。

備え付ける:必要なものをいつでも使えるように、決まった場所に置いておく。





一年間の大学生活

大学に入って、あっという間に半年が過ぎ、前期の授業が終わりました。幸い、落とした単位はありませんでした。

この半年を振り返ってみると、たくさん忘れられないできごとがありました。入学式で初めて先生と同級生の皆さんと顔を合わせて、その後の合宿で、さらに、先生と同学部の皆さんとの距離が近くなり、話したり、アドバイスを聞いたりしました。その後、本格的な大学生活に入りました。私の大学には留学生が関わる活動がたくさんあります。私は大学のうちにいろいろな活動に参加して、経験していきたいと思っています。それで「留学生日本語弁論大会」、「多文化共生を考えるプロジェクト」に参加しています。良い結果を期待しています。また、二泊三日の研修旅行で北海道に行ってきました。とても楽しかったです。

いよいよ後期の授業が始まりました。私もう既に自分の計画を立てています。皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。

経済学部経営学科 1年 雛飛

2年間の大学生活

小さい頃から日本と日本語に興味を持って、2009年に留学したネパールのシュレスタ プラカシュと申します。初めての留学経験です。日本で過ごす生活の中で、私は今までにいろいろな問題を解決したり、いろいろなことを学んだりしました。初めての一人ぐらしで、私の毎日の生活は明るいとは言えませんでした。最初は日本語もあまりわからないし、道も知らないし、値段も高いし、物価も違うから大変でした。自分の生活費のために少しずつバイトもやろうと思い、探してみましたが、言語の問題で出来ませんでした。もっと日本語能力を高める努力をして、バイトもすることができました。でも毎日勉強しながら、バイトもしながらの生活は難しいものでした。

現在、四日市大学で環境情報学を勉強しています。この大学に入ってから、いろいろな国の人と友達になったり、いろいろなプログラムに参加したりしました。講義のクラスも中国、ベトナム、ミャンマーと色々な国からの友達が集まっていて、ディスカッションなどの交流を中心に進み、楽しいです。また、自分で勉強したい課題を勉強することもできることも楽しいです。授業講義や講義以外のアクティビティーを通して視野も広がり、将来にも良い影響をたくさんたくさん与えてくれると思います！

環境情報学部環境情報学科 2年 シュレスタ プラカシュ

